

令和2年度 幌加内町決算審査特別委員会 第3日目

令和3年10月27日（水曜日）

○出席委員（7名）

委員長	7番	中村雅義君			
	2番	市村裕一君（副委員長）	8番	小関和明君（副委員長）	
	3番	中南裕行君	4番	藤井祐君	
	6番	蔵前文彦君	議長	小川雅昭君	

○欠席委員（1名）

1番 中川秀雄君

○出席説明員

町	長	細川雅弘君				
副町	長	大野克彦君				
教	育	長	村上雅之君			
総	務	課	長	中河滋登君		
産	業	課	長	清原吉典君		
建	設	課	長	宮田直樹君		
住	民	課	長	山本久稔君		
保	健	福	祉	課	長	竹谷浩昌君
会	計	管	理	者		蔵前裕幸君
教	育	次	長	内山涉君		
地	域	振	興	室	長	新江和夫君
産	業	課	主	幹		安藝修君
農	政	係	長	相澤雅彦君		
農	林	振	興	係		西山慎也君
建	設	課	主	幹		高田英樹君
建	設	課	主	幹		山田英樹君
建	設	課	主	幹		塚田裕紀君
建	設	課	主	幹		藤田夏樹君

○出席事務局職員

事	務	局	長	加藤誠一君
書			記	岡田由美君

◎3日目 審査開会の宣告

○委員長（中村雅義君） ただいまの出席委員数は6名であります。

定足数に達していますので、令和2年度決算審査特別委員会を再開いたします。

◎開議の宣言

○委員長（中村雅義君） これから本日の委員会を開きます。

◎一般会計 歳出 審査の開始（産業課所管）

出席者：産業課長（清原古典君）、産業課主幹（安藝修君）、農政係長（相澤雅彦君）、
農林振興係（西山慎也君）

一般会計 歳出「2款 総務費、5款 労働費、6款 農林水産業費、7款 商工費」を一括して審査を行います。

説明の発言を許します。

○産業課長（中河滋登君） 産業課長。

○委員長（中村雅義君） 産業課長。

○産業課長（中河滋登君）

歳出、66ページ、67ページをお開き下さい。2款1項8目、町有林造成費、予算現額1788万円、支出済額1772万157円、不用額15万9843円、12節、委託料520万1900円、森林整備事業委託料494万8900円、政和八線町有林の間伐13.83ヘクタール、令和元年度に実施した政和第3旧JR敷地及び旧高校跡地の植樹祭時の活着を促すため下刈り、ネズミ駆除剤の散布5.73ヘクタールを実施したところです。歳入としては、間伐材の販売として89万6000円、その他、間伐事業として下刈り、ネズミ駆除剤については北海道の事業として231万6000円を収入しています。14節、工事請負費、政和八線奥林道改良工事542万3000円、政和八線の町有林までの林道整備400メートルの整備を実施したところです。財源については、森林環境譲与税を充当しています。18節、負担金、補助及び交付金、道営林業生産基盤整備道開設事業負担金688万300円、林道整備として長留内ほろたち線、スキー場周辺となりますが全体延長4450メートルの内、1540メートル分の測量設計を実施しました。北海道の事業として町が事業費の25パーセント分の負担をしたところです。78ページ、79ページをお開き下さい。2款1項13目、地方創生事業費、予算現額1364万4000円、支出済額1230万7944円、不用額133万6056円、地域おこし協力隊、そば振興の予算となっています。1節、報酬657万4243円、会計年度職員報酬651万3043円の内、産業課支出分として加工センター、観光協会の配置2名分として411万3043円を支出しています。12節、委託料、そばの里普及拡大事業委託料220万円、コロナ禍において、そば祭り、湖水祭りが中止となりました。

また、せいわ温泉ルオントのオープンイベントも中止となり、観光客の落ち込みも懸念されたため、北海道の地域づくり総合交付金事業を活用してアフターコロナ対応として上杉周太を広告塔としてYouTube動画を作成し、配信しているところです。事業については、令和2年度から令和4年度までの3年間で予定しています。92ページ、93ページをお開き下さい。2款7項4目、経済対策費、予算現額8193万円、支出済額8192万7964円、不用額2036円、10節、需用費、印刷費24万2440円、11節、役務費、郵便料17万2525円、クーポン券印刷費1817冊分、町民配布の郵便料として支出しています。12節、委託料、幌加内そば販路拡大促進事業委託料351万7800円、コロナ禍において、そばの価格低迷によりECサイトを立ち上げて、そば粉、加工麺の販売を行うページを作成費用として支出しています。18節、負担金、補助及び交付金7799万5199円、新型コロナウイルス感染症対策補助金5336万4623円、こちらは6事業の合わせた額になります。1点目、休業協力補助事業として緊急事態宣言における、飲食宿泊業者へ休業要請が行われ休業協力店へ第1段の4月25日から5月6日までの協力店へ1店舗あたり30万円、5月7日から17日の第2段として1店舗あたり20万円を支給したところです。対象事業者については11店舗ありますが、第1段に道から30万円の事業対象受給者については差額を支給することとしています。休業協力補助事業総額については500万円です。2点目、国の持続化給付金受給者に対し町独自に60万円を支給しています。飲食事業者10件、その他事業者として19件の39件分を支給しています。総額は2340万円です。3点目、町内飲食業店の売り上げ回復と、子育て世帯を支援するため飲食食品クーポン券を全町民に配布をしています。1冊5000円分を全町民に1冊、高校生以下は2冊を追加配布しています。総額898万8291円です。4点目、30パーセントプレミアム付商品券の発行を行い、30パーセント分を助成しています。例年ですと7款で予算措置をしていましたが、10パーセントの上乗せ分を北海道のコロナ対策費に充当をしたため、2款での予算執行となりました。7月販売分で1800セット、537万6000円、11月販売分で2200セット、650万7000円、合計4000セット、1138万3000円を支出しています。5点目、宿泊利用促進補助として宿泊事業者の経営安定のため9月から3月までに宿泊した人に割引として1人1泊5000円の助成を行いました。508泊分で293万7500円を支出しています。6点目、緊急資金利子補給として新型コロナウイルスの影響を受けた事業者に対し緊急資金として1000万円を上限として5年間の償還を無利子、無担保の助成を行ったところです。助成額については7件分、115万5832円です。6点の総額として6336万4623円となります。幌加内そば物販事業補助金59万7000円、消費が落ち込んでいる幌加内そばの消費拡大のため、活性化協議会が実施主体となり札幌の商業施設において物販販売を行ったものです。そばの里ほろかない持続化給付金2344万8000円、令和2年4月から6月までの製粉販売量が著しく減少したため、取り扱い規模に応じ、町内の製粉業者9社において給付金を支給したものです。148ページ、149ページお開き下さい。5款1項1目、労働費、予算現額18万6000円、支出済額17万5100円、不用額1万900円、特に説明はありません。6款1項1目、農業委員会費、予算現額710万4000円、支出済額704万7440円、不用額5万6560円、特に説明はありません。2目、農業総務費、予算現額126万2000円、支出済額98万8359円、不用額27万3641円、令和2年度、産業貢献者選考を書面により審議し決定をしたところですが、対象者が辞退したため該当者はいませんでした。ほか特に説明はありません。3目、農業振興費、予算現額3億704万7000円、支出済額3億702万1907円、不用額2万5093円、18節、負担金、補助及び交付金3億623万357円、

農業経営基盤強化資金利子補給補助金 35 万 6109 円、延べ 28 件分の利子補給となります。中山間地域等直接支払補助金 545 万 1824 円、広域集落として 3 集落で 1 組織となり実施しています。対象戸数として 59 戸、田の面積 68.14 ヘクタールの取り組みに対するものです。農業振興奨励補助金 4009 万 7814 円、決算書、主要な施策成果の説明書の 15 ページにあります、主なものとして小規模土地改良事業 141 万 9000 円、対象戸数 2 戸、1088.4 メートルの暗渠排水事業に助成を行っています。営農対策推進事業 677 万 7439 円の内、融雪促進対策事業 487 万 7276 円を支出しています。対象戸数 45 戸、対象面積 628.34 ヘクタール、水稻、小麦、豆類、そばのはや播きなどの融雪剤購入費に対し助成をしています。鳥獣害防止対策事業 172 万 2163 円、令和 2 年度、捕獲頭数 196 頭分の助成、ほか罫の狩猟免許の更新、電気柵購入に対し助成をしています。畑作輪作振興事業 1102 万 2930 円、対象 14 戸、対象面積 271.41 ヘクタール、そばの作付けから小麦、かぼちゃ、馬鈴薯、大豆などの作物への輪作に対して助成をしています。酪農ヘルパー育成事業 336 万円、対象戸数 2 戸に対して助成をしています。アグリビジネス推進事業 9 万 9000 円、JA 青年部が知名度向上のために設置した看板の費用に助成をしています。新型コロナウイルス感染症対策事業(そば) 1487 万 5000 円、新型コロナウイルス感染症による、そばの販売の価格低迷による経費を緊急的に支援することとして、そば乾燥調製施設等の利用料の 1/2 の助成をしています。新型コロナウイルス感染症対策事業(畜産) 162 万 2630 円、新型コロナウイルス感染症による価格低迷、ほか令和 2 年 3 月から 7 月までの 5 ヶ月間の販売手数料の販売にかかる運賃の一部支援を行っています。155 ページに戻って下さい。環境保全型農業直接支払補助金 8257 万 5320 円、カバークロップのすきこみ 25 件、1269.07 ヘクタール、施肥の芙蓉 8 件、130.88 ヘクタール、有機農業 3 件、7.32 ヘクタールの取組みに対し交付をしています。多面的機能支払補助金 8379 万 2890 円、農地の維持、資源向上支払いに対し交付されるもので、3 地区受益者延べ 202 名、田 1121.21 ヘクタール、畑 3031.97 ヘクタール、草地 2084.02 ヘクタール、合計 4437.20 ヘクタールに対し農地の保全活動事業を行っています。色彩選別機増設事業補助金 5168 万 3000 円、強い農業づくり事業補助金 4130 万円、通称、そばの牙城の施設内の色彩選別機にカラーの色彩選別機の入替えをした事業に対して助成しています。より精度の高い玄そば出荷のため強い農業づくり交付金事業の採択を受け、4130 万円はトンネル事業として歳入、歳出をしています。色彩選別機増設事業の 5168 万 3000 円は、国費の補助残分を助成しています。財源については、過疎債を充当し町の単独費となる財源については JA が負担し実質町の持ち出しはありません。4 目、農地保有合理化事業費、予算現額 4 万 7000 円、支出済額 4 万 6300 円、不用額 700 円、特に説明はありません。5 目、地力維持増進施設運営費、予算現額 670 万 3000 円、支出済額 648 万 9155 円、不用額 21 万 3845 円、パーク堆肥 243 t を販売しているところです。ほか特に説明はありません。6 目、農業技術センター費、予算現額 1445 万 2000 円、支出済額 1322 万 1436 円、不用額 123 万 564 円、1 節、報酬 793 万 6151 円、農業技術センター検討委員会委員報酬 1 万 3600 円、研究成果の報告と次年度の研究内容の検討となります。ほか特に説明はありません。7 目、農業担い手対策費、予算現額 11 万 9000 円、支出済額 11 万円、不用額 9000 円、特に説明はありません。8 目、経営所得安定対策費、予算現額 3559 万 3000 円、支出済額 3537 万 1730 円、不用額 22 万 1270 円、18 節、負担金、補助及び交付金 3429 万 1300 円、畑作構造転換事業補助金 3229 万 1300 円、国の令和元年度補正予算で畑作の湿害軽減対策の取り組みを行ったことに対し交付されるものです。国費 10/10 としてトンネル事業となっています。9 目、畜産費、予算現額 51

万 2000 円、支出済額 34 万 2232 円、不用額 16 万 9768 円、特に説明はありません。10 目、農業金融対策費、予算現額 41 万 9000 円、支出済額 36 万 5334 円、不用額 5 万 3666 円、18 節、負担金、補助及び交付金、農業振興資金利子補給補助金 35 万 924 円、26 件に対して利子補給を行っています。ほか特に説明はありません。11 節、農業活性化センター運営費、予算現額 1223 万 1000 円、支出済額 1152 万 6463 円、不用額 70 万 4537 円、令和 2 年度の利用実績については 559 件、7047 人が利用しています。前年比 54 パーセントですが、新型コロナウイルスによる各団体の利用者の減少が主な要因となっています。10 節、需用費 299 万 2629 円、修繕料 63 万 2918 円中の主なものとしては、多目的ホールの物品扉の建具調整 38 万 3900 円、事務室のブラインド修理 7 万 9068 円を支出しています。14 節、工事請負費、農業活性化センター LED 化工事 239 万 8000 円、多目的ホールの電気を LED に交換をしたものです。17 節、備品購入費 86 万 4490 円、葬儀用の備品として会計時の目隠し用として展示用パネル 12 枚、83 万 7870 円、電話子機 1 台、1 万 2320 円、飛沫防止パーテーション 1 台、1 万 4300 円を購入しています。12 目、土地改良施設維持管理費、予算現額 769 万 9000 円、支出済額 741 万 180 円、不用額 28 万 8820 円、基幹水利施設管理事業として雨煙内ダムの管理に対し支出しています。13 目、土地改良事業費、予算現額 7908 万 4000 円、支出済額 6613 万 8090 円、不用額 802 万 6910 円、主要な施策の成果 12 ページに詳細が記載されていますので、概要のみ説明します。道営幌加内中部地区経営体育成基盤整備事業負担金 110 万 7662 円、幌加内市街地を流れる新川の排水路 283 メートルを整備しています。繰越の中部地区 2274 万 9788 円、区画整備として 22.3 ヘクタール実施しています。中部地区については、平成 24 年度より事業が採択され令和 3 年度で完成予定となっているところです。道営幌加内東部地区経営体育成基盤整備事業負担金 74 万 175 円、区画整理 5.9 ヘクタールを実施しています。明許繰越の東部地区 358 万 7238 円、区画整理を 15.8 ヘクタール実施しています。東部地区については、平成 25 年度より事業が採択され令和 2 年度で事業が完了となっています。道営幌加内北部地区担い手育成型基盤整備事業負担金 1478 万 9643 円、区画整理 18.5 ヘクタールを実施しています。明許繰越の北部地区 186 万 3081 円、区画整理地の測量費として支出しています。事業年度については、令和元年度から令和 9 年度を予定し、区画整理 423 ヘクタール、暗渠排水 92 ヘクタールを計画しています。土地改良事業推進協議会補助金 808 万 183 円、現在実施をしている土地改良事業推進のため必要な経費を土地改良推進協議会へ支出しているところです。2 項 1 目、林業費、予算現額 44 万 9000 円、支出済額 44 万 5799 円、不用額 3201 円、18 節、負担金、補助及び交付金 15 万 4000 円、北海道林業木材産業人材育成支援協議会負担金 3 万円、旭川市に北海道立北の森学園が令和 2 年 4 月に開校されたところです。道内の自治体が協賛し林業関係業の就業支援に充当されているところです。3 項 1 目、水産業振興費、予算現額 117 万 4000 円、支出済額 115 万 1203 円、不用額 2 万 2797 円、18 節、負担金、補助及び交付金 114 万 7435 円、水産業振興奨励補助金 2 万円、資源回復事業としてワカサギの受精卵購入 1 億粒を飼育、ふ化、放流しています。イトウの地場産の卵放流として 4 万 5000 粒、稚魚放流事業としてヤマベ 3 万匹、アメマス 1 万 5000 匹、イトウ 1 万 5000 匹の放流事業に対して助成をしています。7 款 1 項 1 目、商工振興費、予算現額 4508 万円、支出済額 4459 万 8782 円、不用額 48 万 1218 円、10 節、需用費 163 万 9000 円、修繕料 36 万 3000 円、交流プラザのトイレ 4 基分をウォシュレット便座へ交換したものです。特別修繕料 127 万 6000 円、交流プラザ内の照明を LED 化の電球に取り換えたものです。17 節、備品購入費、機械器具費 9 万 8800 円、

交流プラザ内の JR 深名線資料展示室モニター 2 台を更新しているものです。18 節、負担金、補助及び交付金 4281 万 2102 円、町補償融資利子補給補助金 20 万 4102 円、上期 5 件、下期 5 件の延べ 10 件分を利子補給しているものです。商工業振興奨励補助金 2008 万 1000 円、この補助事業においては平成 26 年度から令和元年度を時限立法として執行されていますが、依然として商工事業者の経営状況は厳しく継続要請があったところです。これにより令和 2 年度から令和 6 年度の 5 年間の時限立法で、第 2 期として執行期間の延長をしたところです。第 2 期の初年度目である令和 2 年度の事業については、店舗等建設事業 2 事業者 636 万 5000 円、倉庫の新築と外壁改修によるものです。機械設備事業 1371 万 6000 円、2 事業者建設事業の購入助成のほか、4 事業者の 4 件の機械設備購入にかかる助成をしています。合計 8 件分の助成をしています。2 目、観光費、予算現額 8667 万 7000 円、支出済額 8490 万 199 円、不用額 177 万 6801 円、10 節、需用費 415 万 8796 円、修繕料 138 万 1182 円、主なものとして、朱鞠内レークハウスの舗装の縁石復旧工事 47 万 5200 円、せいわ温泉ルオントの屋外排水工事 20 万 9000 円、道の駅物産館前のマンホール補修 9 万 6800 円を修繕しています。14 節、工事請負費、朱鞠内湖畔ロジックわかさぎ亭屋根改修工事 852 万 5000 円、昭和 59 年建築で 35 年を経過しています。雨漏りがあったためトタンの屋根のふき替えを計画に基づき実施したものです。3 目、まどか運営費、予算現額 2159 万 3000 円、支出済額 2128 万 7000 円、不用額 30 万 6000 円、10 節、需用費、修繕料 18 万 7000 円、まどか体験実習棟の漏水に伴う養生による経費を支出しています。以上で説明を終わります。

○委員長（中村雅義君） それでは説明が終わりました。これから質疑に入ります。

質疑は挙手の上、起立をもって簡潔明瞭にお願いします。

「2 款 総務費、1 項 総務管理費、8 目 町有林造成費」66 ページから質疑を受けます。

66 ページ、67 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 68 ページ、69 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） ページを跳んで、78 ページ、79 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 80 ページ、81 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） ページを跳んで、92 ページ、93 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 94 ページ、95 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 2 款、全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 「5 款 労働費、1 項 労働費、1 目 労働費」148 ページから質疑を受けます。

148 ページ、149 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 5款、全般について質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 「6款 農林水産業費、1項 農業費、1目 農業委員会費」150ページから質疑を受けます。

150ページ、151ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 152ページ、153ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 154ページ、155ページについて質疑ありませんか。

○3番(中南裕行君) 委員長、3番。

○委員長(中村雅義君) 3番、中南議員。

○3番(中南裕行君) 農業振興補助金について、小規模土地改良事業で暗渠が2件との説明がありました。率の良い道営事業で誘導をしていくこととは出来ないのでしょうか。小規模も結構、長年やってきていると思うのですが。負担的・率的には道営事業より多いと思うので、できれば今後、小規模ではなくて道営でできるように誘導は出来ないのでしょうか。

○産業課長(清原典吉君) 産業課長。

○委員長(中村雅義君) 産業課長。

○産業課長(清原典吉君) この辺については、土地改良事業とも連携を図りながら進めているところです。緊急性があるもので本人から申し出があり、2件実施したところです。土地改良事業も計画的に事業を進めていますので、次期計画とか、その次の計画も含めて実施するように生産者の方には説明をしています。緊急性があるということで今回、手を挙げられた2名、2件で実施をしています。

○委員長(中村雅義君) 他に154ページ、155ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 156ページ、157ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 158ページ、159ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 160ページ、161ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 162ページ、163ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 164ページ、165ページについて質疑ありませんか。

○6番（蔵前文彦君） 委員長、6番。

○委員長（中村雅義君） 6番、蔵前議員。

○6番（蔵前文彦君） 経営所得安定対策等推進事業補助金について、再生協に対する支払いだと思われるのですが、前年度に対して50万円程値上がっている部分を伺いたいのと、これは固定なのか固定ではないのかを伺いたい。

○産業課長（清原典吉君） 産業課長。

○委員長（中村雅義君） 産業課長。

○産業課長（清原典吉君） 事業に対する事務費です。対象事業に対してあたるものであるため固定ではありません。毎年変動するものではありませんが、人件費や紙代、連絡、通信費などそういう事務経費に充てられるもので、それが対象になったので昨年度より増額となったところです。

○委員長（中村雅義君） 他に164ページ、165ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 166ページ、167ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 168ページ、169ページについて質疑ありませんか。

○3番（中南裕行君） 委員長、3番。

○委員長（中村雅義君） 3番、中南議員。

○3番（中南裕行君） 農業活性化センター運営費について、備品購入費の中で飛沫防止のためのパーティションを購入したと説明があったが、飛沫防止となれば総務費の中の感染対策費。各課ではその科目の中で行っていると思うが、なぜこの部分、パーティションのみこの科目で支出をしているのか伺いたい。

○産業課長（清原典吉君） 産業課長。

○委員長（中村雅義君） 産業課長。

○産業課長（清原典吉君） 今回については、葬儀関係の飛沫防止ということで、こちらの予算で支出をしています。総務課でも購入をしています。そちらの方から一つを借りて、この飛沫防止パーティションについては1台は常設をするため、事務室にも置いてありますので、こちらの方で予算を取らせてもらいました。

○委員長（中村雅義君） 他に168ページ、169ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 170ページ、171ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 172ページ、173ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

- 委員長（中村雅義君） 174 ページ、175 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 6 款、全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 「7 款 商工費、1 項 商工費、1 目 商工振興費」176 ページから質疑を受けます。
176 ページ、177 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 178 ページ、179 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 180 ページ、181 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 182 ページ、183 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 7 款、全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） これで、産業課、農業委員会所管の質疑を終わります。
暫時休憩いたします。

休憩 午前 9 時 3 7 分

再開 午前 9 時 4 5 分

◎一般会計 歳出 審査の開始（建設課所管）

出席者：建設課長（宮田直樹君）、建設課主幹（高田英樹君）、建設課主幹（山田英樹君）、建設課主幹（藤田夏樹君）、建設課主幹（塚田裕紀君）

- 委員長（中村雅義君） 休憩を閉じまして、建設課所管の審査を行います。
一般会計 歳出「2 款 総務費、8 款 土木費、11 款 災害復旧費」を一括して審査を行います。説明の発言を許します。
- 建設課長（宮田直樹君） 建設課長。
- 委員長（中村雅義君） 建設課長。
- 建設課長（宮田直樹君）

歳出、92 ページ、93 ページをお開き下さい。2 款 7 項 4 目、経済対策費、予算現額 8193 万円、支出済額 8192 万 7964 円、不用額 2036 円、建設課所管分について説明をします。18 節、負担金、

補助及び交付金 7799 万 5199 円、新型コロナウイルス対策協力等事業者水道料金等補助金 58 万 5576 円、新型コロナウイルス感染症により町内の中小事業者において、売りにげに影響を受けた事業者に対して令和 2 年 4 月から 6 月分の上下水道料金相当額 20 万円を限度額として補助したものです。対象事業者については、17 事業者、水道料金 38 万 1942 円、下水道料金 20 万 3634 円、計 58 万 5576 円の経費負担を行っています。184 ページ、185 ページをお開き下さい。8 款 1 項 1 目、土木総務費、予算現額 93 万 8000 円、支出済額 89 万 8450 円、不用額 3 万 9550 円、7 節、報償費、道路河川愛護組合報償金 7 万 5000 円、令和 2 年度については弥運内、沼牛自治区、大通り 1 丁目町内会において道路河川の愛護活動に対して報償費を支出しています。2 項 1 目、道路橋梁維持費、予算現額 2 億 6289 万 9000 円、支出済額 2 億 6149 万 8680 円、不用額 140 万 320 円、1 節、報酬 1764 万 1462 円、会計年度職員報酬 1399 万 2930 円、道路維持作業通年雇用者 1 名、繁忙期 2 名、冬期の除雪職員 13 名分の報酬となっています。会計年度職員時間外勤務報酬 333 万 4032 円、冬期除雪の早出時間外手当となっています。会計年度職員特殊勤務報酬 21 万 2000 円、待機手当として日あたり 2000 円、13 名分です。会計年度職員宿日直報酬 10 万 2500 円、早朝の早出雪見パトロール、120 時間分で 10 万 2500 円です。3 節、職員手当、会計年度職員期末手当 90 万 4805 円、令和 2 年度より支給をされるものですが、対象者 3 名分の期末手当です。10 節、需用費 4900 万 6047 円、修繕料 2599 万 3180 円、道路河川維持修繕として 43 件分、1437 万 8450 円、及び建設機械等の修繕、整備、車検等 58 件 1161 万 4730 円となっています。特別修繕料 684 万 6474 円、50 万円以上の機械修繕費 5 件分として主にブルのトラックリングの交換、ロータリー羽修理等の内訳となっています。12 節、委託料 1 億 7388 万 6846 円、町道除雪業務委託料 1 億 6914 万 2000 円、町道 114 路線、6 万 5880 メートル分にかかる除雪業務委託料です。業者委託分 3 事業者、71 路線、5 万 6957 メートル分、1 億 6145 万 8000 円、基礎集落圏として 3 地区、43 路線、8931 メートル分、768 万 4000 円です。令和 2 年度については、12 月から 2 月上旬までの降雪が多く当初の設計額から 20 パーセントを超えたため、業者委託分並びに基礎集落圏とも 20 パーセントを超えた額をルールにより追加清算をしているところです。前年比 15 パーセントの増、金額 2192 万 5400 円の増となっています。農道管理業務委託料 260 万円、農道の管理業務を土地改良区に委託している分として支払いをしている分です。14 節、工事請負費 1203 万 590 円、除雪センター屋根塗装工事 968 万 7590 円、計画修繕で屋根塗装工事を行っています。17 節、備品購入費 64 万 9572 円、機械器具費 58 万 2472 円、除雪業務で使用した簡易無線機が老朽化により使用できなくなったため、13 台分の無線機を更新したところです。除雪センター備品購入費 6 万 7100 円、機械設備に必要な電動ドライバー 6 万 7100 円で更新。2 目、道路新設改良費、予算現額 1 億 2987 万円、支出済額 1 億 2978 万 3785 円、不用額 8 万 6215 円、12 節、委託料 2 億 550 万 9000 円、橋梁寿命化修繕計画策定業務委託料 686 万 4000 円、橋梁の寿命化計画に基づき 5 年度ごとに義務化されている法廷点検が平成 28 年から 30 年の間に一巡目が終了し、その結果、計画の見直しが必要となり新たな計画策定にかかる業務委託料です。対象橋梁については、93 橋の対象橋梁で策定業務を委託しています。橋梁補修設計業務委託料 1864 万 5000 円、沼牛、東 2 線橋、ほか 2 橋の補修設計委託料となっています。14 節、工事請負費 1 億 37 万 5000 円、橋梁補修工事 3410 万円、12 節の橋梁補修設計業務委託料で説明をした 3 橋分の補修工事となっています。下幌加内線道路改良工事 5905 万 9000 円、路盤工改良舗装 207 メートルの実績となっています。町道側溝改修工事 721 万 6000 円、町道西 7 条線側溝改

修工事として工事を実施しています。16 節、公有財産購入費、土地購入費 32 万 9208 円、並びに 21 節、報償、補填及び賠償金、補償金 286 万 3457 円、これについてはいずれも下幌加内線の道路改良工事に伴う土地購入、車庫、電柱等の移転補償にかかる補償費です。3 項 1 目、河川改修費、予算現額 561 万 7000 円、支出済額 486 万 6981 円、不用額 75 万 19 円、特に説明はありません。4 項 1 目、住宅管理費、予算現額 3877 万 9000 円、支出済額 3697 万 9566 円、不用額 179 万 9434 円、内建設課所管分は 18 節、負担金、補助及び交付金 2056 万 9573 円、住宅リフォーム補助金 130 万 5000 円、5 件分のリフォームに対する補助金です。持ち家建設促進奨励金 1916 万円、5 件の新築住宅にかかる奨励金です。5 項 1 目、簡易水道費、予算現額 4739 万 4000 円、支出済額 4546 万 7345 円、不用額 192 万 6655 円、27 節、操出金、簡易水道事業特別会計操出金 4546 万 7345 円。2 目、飲料水対策費、予算現額 90 万円、支出済額 61 万 473 円、不用額 28 万 9527 円、18 節、負担金、補助及び交付金、飲料水施設改修補助金 61 万 473 円、事業費の 80 パーセント分を補助しており内訳については、沼牛の雑用水、配水池の水位計の修理として 8 万 960 円、添牛内、朱鞠内、個人宅の濾過槽の入替え 2 件分の補助金 52 万 9513 円です。6 項 1 目、下水道費、予算現額 3790 万 8000 円、支出済額 3582 万 2224 円、不用額 208 万 5776 円、27 節、操出金、下水道事業特別会計操出金 3582 万 2224 円。260 ページ、261 ページをお開き下さい。11 款 1 項 1 目、河川道路災害復旧費、予算現額 4000 円、支出済額 0 円、不用額 4000 円、災害対応時の科目存知としており、令和 2 年度においては決算がありませんでした。

○委員長（中村雅義君） それでは説明が終わりました。これから質疑に入ります。

質疑は挙手の上、起立をもって簡潔明瞭をお願いします。

「2 款 総務費、7 項 感染症緊急対策費、4 目 経済対策費」94 ページから質疑を受けます。94 ページ、95 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 2 款、全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 「8 款 土木費、1 項 土木管理費、1 目 土木総務費」184 ページから質疑を受けます。

184 ページ、185 ページについて質疑ありませんか。

○3 番（中南裕行君） 委員長、3 番。

○委員長（中村雅義君） 3 番、中南議員。

○3 番（中南裕行君） 関連で伺いたのだが、名寄遠別線、幌加内側からは終わっていると聞いているが、今、遠別側を行っていると思うが開通はいつ頃になるのか聞いてはいないでしょうか。聞いていれば、教えていただきたい。

○建設課長（宮田直樹君） 建設課長。

○委員長（中村雅義君） 建設課長。

○建設課長（宮田直樹君） 今のところは令和 7 年開通と聞いています。遠別側の路盤が弱いとの

ことで補強工事等若干手こずっているような状況ですが、計画通りに進めば令和7年に開通と聞いています。

- 委員長（中村雅義君） 他に184ページ、185ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 186ページ、187ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 188ページ、189ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 190ページ、191ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 192ページ、193ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 194ページ、195ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 196ページ、197ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 198ページ、199ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 8款、全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 「11款 災害復旧費、1項 災害復旧費、1目 河川道路災害復旧費」
260ページから質疑を受けます。
260ページ、261ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） 11款、全般に質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）
- 委員長（中村雅義君） それでは建設課所管の質疑を終わります。

◎簡易水道特別会計 審査の開始（建設課所管）

出席者：建設課長（宮田直樹君）、建設課主幹（高田英樹君）、建設課主幹（山田英樹君）、建設課主幹（藤田夏樹君）、建設課主幹（塚田裕紀君）

- 委員長（中村雅義君） 引き続きまして、簡易水道特別会計の審査を行います。説明の発言を許します。

○建設課長（宮田直樹君） 建設課長。

○委員長（中村雅義君） 建設課長。

○建設課長（宮田直樹君）

歳出、10 ページ、11 ページをお開き下さい。1 款 1 項 1 目、一般管理費、予算現額 104 万 9000 円、支出済額 89 万 6446 円、不用額 15 万 2554 円、特に説明はありません。2 目、財産管理費、予算現額 3713 万 4000 円、支出済額 3631 万 4819 円、不用額 81 万 9181 円、10 節、需用費 1154 万 5622 円、修繕料 164 万 2190 円、漏水修理 10 件 114 万 8290 円、水道メーターの移設、簡水前処理施設の誘導灯ランプ取替え他 4 件の修理 49 万 3900 円です。特別修繕料 639 万 9800 円、幌加内、政和、湖南浄水場の施設修繕並びに消石灰ポンプ更新等の内訳となっています。14 節、工事請負費 583 万円、幌加内簡易水道朱鞠内地区支線配水管新設工事 202 万 4000 円、民間賃貸住宅の建設に伴い排水管の新設が必要となったため 80 メートル分の排水管の更新設備にかかる工事費となっています。15 節、原材料費 190 万 2340 円、新設工事用資材費 38 万 1150 円、民間賃貸住宅にかかるメーター器等にかかる資材費となっています。2 款 1 項 1 目、元金、予算現額 3096 万 6000 円、支出済額 3096 万 5520 円、不用額 480 円、22 節、償還金、利子及び割引料、償還元金 3096 万 5520 円、簡水債分として 1943 万 5758 円、過疎債分として 1152 万 9762 円となっています。2 目、利子、予算現額 389 万 1000 円、支出済額 389 万 904 円、不用額 96 円、22 節、償還金、利子及び割引料、償還利子 389 万 904 円、簡水債分 358 万 1656 円、過疎債分 30 万 9248 円となっています。3 款 1 項 1 目、予備費については、特に説明はありません。歳入、6 ページ、7 ページをお開き下さい。1 款 1 項 1 目、工事負担金、予算現額 2000 円、調定額、収入済額共に 0 円、特に説明はありません。2 項 1 目、工事分担金、1 節、現年度分、予算現額 14 万 7000 円、調定額 13 万 5960 円、収入済額 13 万 5960 円、給水工事分担金 13 万 5960 円。2 款 1 項 1 目、水道使用料、1 節、現年度分 2285 万円、調定額、収入済額共に 2370 万 9794 円、水道料金として、746 件分の水道料金 2370 万 9794 円です。2 項 1 目、諸手数料 1 節、現年度分 1 万 1000 円、調定額、収入済額共に 1 万 200 円、設計審査手数料 1 万 200 円、給水分担金 9 件にかかる設計手数料です。3 款 1 項 1 目、財産貸付収入、1 節、現年度分、予算現額 262 万 8000 円、調定額、収入済額共に 274 万 4390 円、メーター貸付料 274 万 4390 円、746 件分の貸付料です。4 款 1 項 1 目、他会計繰入金、1 節、一般会計繰入金、予算現額 4739 万 4000 円、調定額、収入済額共に 4546 万 7345 円、一般会計繰入金 4546 万 7345 円です。5 款、繰越金から 6 款、諸収入まで特に説明はありません。

○委員長（中村雅義君） それでは説明が終わりました。これから質疑に入ります。

歳出 10 ページ、11 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 12 ページ、13 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 14 ページ、15 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 16 ページ、17 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 歳入、6 ページ、7 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 8 ページ、9 ページについて質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 歳入、歳出全般について質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 以上で簡易水道事業特別会計の質疑を終わります。

◎下水道特別会計 審査の開始（建設課所管）

出席者：建設課長（宮田直樹君）、建設課主幹（高田英樹君）、建設課主幹（山田英樹君）、建設課主幹（藤田夏樹君）、建設課主幹（塚田裕紀君）

○委員長（中村雅義君） 引き続きまして、下水道特別会計の審査を行います。説明の発言を許します。

○建設課長（宮田直樹君） 建設課長。

○委員長（中村雅義君） 建設課長。

○建設課長（宮田直樹君）

歳出、8 ページ、9 ページをお開き下さい。1 款 1 項 1 目、一般管理費、予算現額 12 万 2000 円、支出済額 5 万 128 円、不用額 7 万 1872 円、特に説明はありません。2 目、財産管理費、予算現額 1487 万 9000 円、支出済額 1423 万 9402 円、不用額 63 万 9598 円、10 節、需用費 528 万 3698 円、修繕料 52 万 8000 円、農集施設のポンプ並びに散水栓漏水修理 23 万 2100 円、下水マンホールのポンプ切上げ修理 29 万 5900 円です。特別修繕料 163 万 9000 円、農集施設処理施設の汚泥脱水機のオーバーホールの費用となっています。17 節、備品購入費 112 万 7500 円、農集処理施設の暖房器並びに給湯器が老朽化し更新したものです。3 目、浄化槽管理費、予算現額 3401 万 1000 円、支出済額 3386 万 1380 円、不用額 14 万 9620 円、10 節、需用費、特別修繕料 112 万 2000 円、個人宅の小型合併浄化槽のプロアー修理及び交換を行ったものです。14 節、工事請負費、合併処理浄化槽設置工事 1974 万 5000 円、民間賃貸住宅ほか 5 件の新規浄化槽設置工事分となっています。2 款 1 項 1 目、元金、22 節、償還金、利子及び割引料、予算現額 2832 万 5000 円、支出済額 2832 万 4061 円、不用額 939 円、下水道事業債 2759 万 3992 円、過疎債分 73 万 69 円です。2 目、利子、22 節、償還金、利子及び割引料、予算現額 459 万 1000 円、支出済額 459 万 237 円、不用額 763 円、償還金利子で同額であり、下水道債分 457 万 8525 円、過疎債分 1 万 1583 円です。3 款、予備費については特に説明はありません。

歳入 6 ページ、7 ページをお開き下さい。1 款 1 項 1 目、浄化槽使用料、1 節、現年度分、予算現額 990 万 3000 円、調定額、収入済額共に 1042 万 2001 円、198 件分の浄化槽使用料となってい

ます。2目、下水道使用料、1節、現年度分、予算現額1546万円、調定額、収入済額共に1614万8247円、445件分の下水道の使用料です。2款、繰入金から5款、町債まで特に説明はありません。

○委員長（中村雅義君） それでは説明が終わりました。これから質疑に入ります。

歳出8ページ、9ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 10ページ、11ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 12ページ、13ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 14ページ、15ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 16ページ、17ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 歳入6ページ、7ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 歳入、歳出全般について質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 以上で下水道事業特別会計の質疑を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時18分

再開 午前10時29分

◎一般会計 歳入 審査の開始

出席者：町長（細川雅弘君）、副町長（大野克彦君）、教育長（村上雅之君）、
総務課長（中河滋登君）、産業課長（清原吉典君）、建設課長（宮田直樹君）、
住民課長（山本久稔君）、保健福祉課長（竹谷浩昌君）、会計管理者（蔵前裕幸君）、
地域振興室長（新江和夫君）、教育委員会次長（内山渉君）

○委員長（中村雅義君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。一般会計 歳入の審査を行います。説明の発言を許します。

○総務課長（中河滋登君） 総務課長。

○委員長（中村雅義君） 総務課長。

○総務課長（中河滋登君）

歳入、10 ページ、11 ページをお開き下さい。1 款 1 項 1 目、町民税、1 目、個人、調定額 9052 万 5752 円、収入済額 8970 万 5692 円、不能欠損額 8 万 3757 円、収入未済額 73 万 6303 円、対前年比 22.8 パーセントの減であります。不能欠損 3 件、滞納繰越は現年、過年合わせて 31 件となっています。2 目、法人、調定額、収入済額共に 1 億 20 万円、対前年比 11.5 パーセント増となっています。2 項 1 目、固定資産税、調定額 6952 万 6900 円、収入済額 6861 万 9600 円、不能欠損額 14 万 8400 円、収入未済額 75 万 8900 円、対前年比 4.2 パーセントの増加、収納率 98.6 パーセントであります。不能欠損 10 件、滞納繰越は現年、過年あわせて 59 件となっています。2 目、国有資産等所在市町村交付金、調定額、収入済額共に 476 万 1200 円、対前年比 0.7 パーセントの増となっています。3 項 1 目、軽自動車税、調定額 504 万 4900 円、収入済額 492 万 800 円、不能欠損額 2400 円、収入未済額 12 万 1700 円、対前年比 0.9 パーセントの増、収納率 97.5 パーセントであります。不能欠損 1 件は 5 年経過による処理。滞納繰越については現年、過年で 5 件となっています。4 項 1 目、たばこ税、調定額、収入済額共に 472 万 1043 円、対前年比 7.7 パーセントの減となっています。5 項 1 目、入湯税、調定額、収入済額共に 191 万 8490 円、対前年比 55.0 パーセントの増。コロナの影響はありましたが、工事完了によるリニューアル営業ができたことが要因です。利用者 3 万 1557 人、対前年比 1 万 3878 人増です。2 款 1 項 1 目、地方揮発油譲与税、調定額、収入済額共に 1869 万 6000 円、対前年比 2.1 パーセントの減です。2 項 1 目、自動車重量譲与税、調定額、収入済額共に 5439 万 6000 円、対前年比 1.1 パーセントの減となっています。3 項 1 目、森林環境譲与税、調定額、収入済額共に 385 万 8000 円、対前年比 12.4 パーセントの増となっています。3 款 1 項 1 目、利子割交付金、調定額、収入済額共に 17 万 9000 円、対前年比 8.4 パーセントの増となっています。4 款 1 項 1 目、配当割交付金、調定額、収入済額共に 42 万 6000 円、対前年比 21.1 パーセントの減となっています。5 款 1 項 1 目、株式等譲渡所得割交付金、調定額、収入済額共に 50 万 5000 円、対前年比 42.1 パーセントの増となっています。6 款 1 項 1 目、地方消費税交付金、調定額、収入済額共に 3572 万 4000 円、対前年比 21.6 パーセントの増となっています。7 款 1 項 1 目、自動車税環境性能割交付金、調定額、収入済額共に 530 万 1000 円、対前年比 187.7 パーセントの増。自動車取得税交付金に代わるものです。8 款 1 項 1 目、地方特例交付金、調定額、収入済額共に 295 万 8000 円、対前年比 26.0 パーセントの増となっています。9 款 1 項 1 目、地方交付税、調定額、収入済額共に 22 億 7631 万 6000 円、対前年比 0.2 パーセントの増となっています。10 款 1 項 1 目、交通安全対策特別交付金、調定額、収入済額共に 55 万 9000 円、皆増です。交通反則金を原資に交通施設整備へ交付されるものです。11 款 1 項 1 目、分担金、調定額、収入済額共に 3817 万 2083 円、対前年比 7.3 パーセントの減です。2 項 1 目、負担金はありません。12 款 1 項 1 目、総務使用料、調定額、収入済額共に 875 万 3011 円、対前年比 5.1 パーセントの増です。2 目、民生使用料、調定額、収入済額共に 302 万 8048 円、対前年比 0.9 パーセントの減です。3 目、衛生使用料、調定額、収入済額共に 8063 万 5746 円、対前年比 14.1 パーセントの減です。4 目、農業使用料、調定額、収入済額共に 3000 万 1147 円、前年比 0.8 パーセントの減です。5 目、商工使用料、調定額、収入済額共に 9 万 4600 円、対前年比 125.2 パーセントの増です。6 目、土

木使用料、調定額 4548 万 1960 円、収入済額 4516 万 5460 円、収入未済額 31 万 6500 円、対前年比 0.9 パーセントの減。これについては、住宅使用料の中で 2 件、19 月分の未収入分となっています。

7 目、教育使用料、調定額、収入済額共に 96 万 3725 円、対前年比 2.5 パーセントの減です。2 項 1 目、総務手数料、調定額、収入済額共に 114 万 3700 円、対前年比 7.0 パーセントの減です。2 目、衛生手数料、調定額、収入済額共に 1382 万 7972 円、対前年比 10.1 パーセントの増です。3 目、農業手数料、調定額、収入済額共に 63 万 5000 円、対前年比 464.9 パーセントの増で、嘱託登記の件数が大きく伸びたことが要因です。4 目、教育手数料、調定額、収入済額共に 117 万 6400 円、対前年比 13.6 パーセントの減です。13 款、国庫支出金、調定額、収入済額共に 6 億 2119 万 8082 円、対前年比 68.2 パーセントの増です。これは、1 目、国庫負担金 5201 万 4842 円、2 項、国庫補助金 5 億 6792 万 3331 円、3 目、国庫委託金 125 万 9909 円を合わせた額です。増の要因は、2 目、民生費国庫補助金、1 節、民生費補助金の中段、保育対策総合支援事業費補助金 46 万 8000 円から下の 5 つの補助金の皆増。2 目、衛生費国庫補助金、1 節、保健衛生費補助金、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金 325 万 8000 円、5 目、総務費国庫補助金の中段、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金 1 億 3965 万円の皆増が主なものです。14 款、道支出金、調定額、収入済額共に 2 億 8680 万 1252 円、対前年比 0.1 パーセントの減。1 項、道負担金 3308 万 8461 円、2 項、道補助金 2 億 4724 万 5986 円、3 項、道委託金 646 万 6805 円を合わせたものです。主なものは、2 項、道補助金、1 目、民生費道補助金、一番下の段、新型コロナウイルス緊急包括支援交付金、福祉分 100 万円の皆増、3 目、農林水産業費道補助金、1 節、農業費補助金中、下から 5 段目、地域づくり総合交付金（一般事業）110 万円、畑作構造転換事業補助金 3229 万 1300 円、強い農業づくり事業補助金 4130 万円の皆増です。その他、13 款、14 款については、歳出で関連説明があったかと思しますので細かな説明は省略させていただきます。15 款、財産収入、調定額 1550 万 3196 円、収入済額 1548 万 7966 円、収入未済額 1 万 5230 円、対前年比 46.8 パーセントの減となっています。この部分は、1 目、財産貸付収入中、1 節、土地貸付収入、政和町有地貸付分 1 名の未収入となります。2 項、財産売払収入、調定額、収入済額共に 449 万 8939 円ですが、この中では特に説明はありません。16 款 1 項 1 目、一般寄附金、調定額、収入済額共に 346 万円、6 件分です。2 目、使途指定寄付金、調定額、収入済額共に 4895 万円、対前年比 116.6 パーセントの増。ふるさと納税ですが、3613 件で前年より 2155 件増加。内訳は、町長お任せが 1641 万 8000 円、子育て支援 949 万 1000 円、イトウの保護 880 万 5000 円、朱鞠内湖周辺整備 756 万 3000 円、そば振興 667 万 3000 円となっています。17 款 1 項 1 目、基金繰入金、調定額、収入済額共に 1 億 941 万 7861 円、対前年比 55.7 パーセントの増です。当初予算では歳入不足を補うため、財政調整基金 2 億 3000 万円をはじめ、基金取り崩し合計で 4 億円程度、基金の取り崩しを見込んでいましたが、地方交付税の財源留保や新型コロナウイルス感染症による各種事業が中止となり支出減の要因により財源不足の取り崩しは 9184 万 4000 円程度となったところです。18 款 1 項 1 目、繰越金、調定額、収入済額共に 9734 万 4242 円、対前年比 22.6 パーセントの減です。19 款、諸収入、調定額 8318 万 6649 円、収入済額 8317 万 8201 円、収入未済額 8448 円、これは、4 目、雑入で、上から 7 段目、湖北団地浄化槽使用電気料負担金に係るもので 1 名分です。現在は、納入し解決しているところです。また、下 2 段目、新型コロナウイルス緊急包括支援交付金、介護分 203 万 2000 円、医療分 477 万 3870 円が皆増となっています。20 款、町債ですが、目ごと

の説明は省略させていただきますが、全体で5億4498万8000円の借り入れを行っています。対前年比25.0パーセントの減となっています。過疎債で19件、2億2800万円、辺地債で4件、4190万円、補正債で2件、330万円、臨時財政対策債1件、5768万8000円、一般廃棄物処理事業債1件、2億1050万円、緊急防災・減災事業債1件、60万円、主な要因は、町民保養センター整備事業債（繰越明許）1億9890万円分の皆減です。次の40ページ、41ページについては特に説明はありません。ページを戻っていただき4ページ、5ページをお願いします。一般会計歳入調定額46億2096万8959円に対し、収入済額46億1877万7321円、不能欠損額23万4557円、収入未済額195万7081円となります。さらに戻っていただき、1ページをお願いします。歳入歳出差引残額5432万8431円、翌年度へ繰越すべき財源57万8000円を差し引いた5375万431円を実質収支として決算したところであります。以上で一般会計歳入の説明を終わります。ご審議のほどよろしくをお願いします。

○委員長（中村雅義君） それでは説明が終わりました。これから質疑に入ります。

1 款、町税 10 ページ、11 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 12 ページ、13 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 14 ページ、15 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 16 ページ、17 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 18 ページ、19 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 20 ページ、21 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 22 ページ、23 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 24 ページ、25 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 26 ページ、27 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 28 ページ、29 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 30 ページ、31 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 32 ページ、33 ページについて質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（中村雅義君） 34 ページ、35 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 36 ページ、37 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 38 ページ、39 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 40 ページ、41 ページについて質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 歳入全般について質疑を受けます。質疑ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 一般会計歳入の質疑を終わります。

暫時休憩をいたします。

○事務局長(加藤誠一君) これより討論、採決に入りますので、理事者ならびに職員はそのまま
で、お待ち下さい。

休憩 午前10時53分

再開 午前10時54分

◎討論

○委員長(中村雅義君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

これから会計ごとに順次討論を行います。

まず始めに、令和2年度幌加内町一般会計決算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 討論なしと認めます。

次に、令和2年度幌加内町国民健康保険特別会計の決算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 討論なしと認めます。

次に、令和2年度幌加内町後期高齢者医療特別会計決算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 討論なしと認めます。

次に、令和2年度幌加内町介護保険特別会計決算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 討論なしと認めます。

次に、令和2年度幌加内町簡易水道事業特別会計決算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 討論なしと認めます。

次に、令和2年度幌加内町下水道事業特別会計決算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 討論なしと認めます。

次に、令和2年度幌加内町奨学資金特別会計決算について討論ありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(中村雅義君) 討論なしと認めます。

◎採 決

○委員長(中村雅義君) これから会計ごとに順次採決を行います。

この採決は挙手により行います。

まず始めに、令和2年度幌加内町一般会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和2年度幌加内町国民健康保険特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和2年度幌加内町後期高齢者医療特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和2年度幌加内町介護保険特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和2年度幌加内町簡易水道事業特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和2年度幌加内町下水道事業特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

次に、令和2年度幌加内町奨学資金特別会計決算の件を採決いたします。

本案は、原案のとおり認定することに賛成の方は挙手を願います。

(全員挙手)

○委員長(中村雅義君) 挙手多数。したがって、認定すべきと決定しました。

以上をもちまして本委員会に付託された議案第44号、令和2年度幌加内町各会計歳入歳出決算認定の審査は全部終了いたしました。なお、議長への審査結果報告につきましては、委員長に一任願います。

◎閉会あいさつ

○委員長(中村雅義君)

決算審査特別委員会を閉会するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

令和3年9月16日開催の第3回議会定例会において、決算審査特別委員会に付託となりました議案第44号 令和2年度幌加内町各会計歳入歳出決算認定について、当委員会はそれぞれ決算書及び付属書類等に基づき慎重に審査した結果、認定すべきと決定したところであります。昨年に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、国・道・市町村それぞれが感染対策を取りながら行政運営を行っておりますが、いまだに収束が見通せず、町の財政状況も今後ますます厳しい状況になってくると思われまします。町長以下、執行機関におかれましては、今後とも最小の経費で最大の効果が得られるような予算編成にご尽力くださいますようお願い致します。委員各位におかれましては、限られた時間の中で、膨大な決算の審査にあられたご苦勞に感謝致しますとともに、不慣れな議事進行にご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症が1日でも早く収束されることを願い、簡単ではありますが閉会にあつたてのご挨拶と致します。

○事務局長(加藤誠一君) それでは町長から、ごあいさつをいただきたいと思ひます。

○町長(細川雅弘君)

決算審査特別委員会閉会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

委員各位におかれましては、この3日間、精力的に審査を頂きました。厚くお礼を申し上げます。更には、今ほど採決において全ての会計において認定すべきとのことであります。重ねてお礼を申し上げます。

厳しい財政状況は、これからも続くと思ひをしております。今年度の会計については財政補てん、足りない財源を基金の方に4億円程求めている状況にあります。皆さん今目にしておりますが、中央生活改善センターが取り壊しの最中でありまします。寂しい思ひもありますが、昭和50年代、60年代最も財政的に安定をしていた時期に整備をした施設、あるいはインフラ、そういったものがふと気が付くと、ややもすると半世紀近くになるとのこと、かなりな維持、補修に経費が掛かる。そして新設の工事についても工事費が相当高価、高くなつております。そういった中で自主財源の確保等。例えば、ふるさと納税が今順調に伸びているところでありまします。そういったものにも工夫をしなが

ら自主財源の確保に努めていきたいと思っています。これから益々メリハリのある財政面が必要となってくると感じているところです。委員各位には、より一層のご理解、ご協力を賜ることをお願い申し上げまして閉会にあたってのお礼の、ご挨拶と致します。

○事務局長（加藤誠一君） ありがとうございます。

以上をもちまして、決算審査特別委員会を閉会させていただきます。大変ご苦勞様でした。

閉会 午前11時 2分